

年次計画について

1. 年次計画の見直しについて

「芦屋港活性化推進委員会 プレジャーボート係留施設専門分科会 検討報告書」（平成 30 年 4 月）には、プレジャーボート係留を新設するにあたり、利用隻数、利用料金、収支予測、管理運営方法などを検討すると記載されているように、以前の分科会では整備にあたっての年次計画は検討されていません。

しかしながら、芦屋港活性化推進委員会では、「芦屋港活性化基本計画」（平成 31 年 3 月）を策定する際に、どの施設から整備を進めるかを示したスケジュールである年次計画（図 1）を審議しました。

1) 段階的整備スケジュール

芦屋港の整備にあたっては、上程表のとおり第 1 期から第 3 期まで大きく 3 つの段階に分けた段階的な整備を行います。ただし、整備にあたっては社会経済環境の変化や関係者協議の進捗、財源確保などの要因から変更となる場合もあります。

	整備施設	場所	第 1 期				第 2 期				第 3 期	
			1 年目 2019	2 年目 2020	3 年目 2021	4 年目 2022	5 年目 2023	6 年目 2024	7 年目 2025	8 年目 2026	9 年目 2027	10 年目 2028
1	港湾計画改定		関係機関協議→改定									
2	飲食・販売施設、駐車場	7 号野積場		→			開業			機転移転	リニューアル	
3	イベント広場	6 号野積場		→			開業					
4	ボートパーク	8 号・9 号野積場、水域（波除堤高）		→			供用開始					
5	海釣り施設	東防波堤、1 号野積場、造賀川沿岸沿湾場	東防波堤、	→	●	→						造賀川沿岸沿湾場
6	プロムナード	4 号岸壁				→			→			
7	物流機転移転	2 号・3 号野積場、1 号上屋		事業者の交渉				一部移転、レイアウト変更			物流事業者移転、野積場整備	
8	複合施設（上屋活用）、機転移転	1 号上屋ほか					→			開業		
9	その他港湾機能					→						
10	上下水道	臨港地区内		→								
11	測量調査		→			→					→	

図 1 年次計画（芦屋港活性化基本計画 1 2 9 頁引用）

上記の図 1 では、ボートパークの整備工程は 3 年間と記載されていますが、波除堤が長くなり整備完了までに年数がかかることから、年次計画を見直す必要があります。

## 2. 年次計画（案）

年次計画の見直しにあたっては、整備工程年数が実施設計（詳細設計）を踏まえなければ、正確にわからないことから、社会経済環境の変化や関係者協議の進捗、財源確保などの要因から変更になる場合があることを前提とし、近隣にある脇田フィッシャリーナの整備工程年数を参考に年次計画を整理した。

### ■脇田フィッシャリーナ（参考事例）

防波堤①	L=160m直立消波ブロック	実施設計1年	工事期間3年
防波堤②	L=150mケーソン、消波ブロック	実施設計1年	工事期間3年
浮棧橋	L=128m2基	実施設計1年	工事期間1年

上記の参考事例をもとに、年次計画（変更案）（2図）を下記のとおり整理した。

ただし、前提条件である「社会経済環境の変化や関係者協議の進捗、財源確保などの要因から年数は変更になる場合があること」については、今までどおり記載するものとする。

芦屋港活性化事業推進年次計画（変更案）

整備機能	場所	Phase 1						Phase 2				
		1年目 2019	2年目 2020	3年目 2021	4年目 2022	5年目 2023	6年目 2024	7年目 2025	8年目 2026	9年目 2027	10年目 2028	11年目 2029
2 ポートバード (管理棟、動線ファスナー等)	永城(波除堤倉)、1号 野球場、脇田エリア											

図2 年次計画（変更案）